●新宮市の概況

新宮市は、和歌山県、奈良県及び三重県の県境が接する紀伊半島の東南部に位置して太平洋に面し、温暖で高湿多雨な気候風土により豊かな水資源と樹木育成に恵まれた自然環境の中にあります。

歴史的に古くは、神武天皇東征のコースにあって、日本書紀などには熊野神邑（くまのかむのむら）とよばれ、熊野信仰の中心都市として栄え、中世には、熊野参詣の熊野三大社のひとつ熊野速玉大社の門前町として発展し、明治以降は、熊野材の生産地、製紙業や製材業で繁栄した歴史を持ち、今日まで熊野地方の行政、経済、文化、教育の中心都市として発展をしてきました。

世界遺産登録された「紀伊山地の霊場と参詣道」の熊野古道「大雲取越え」「小雲取越え」「高野坂」や川の参詣道「熊野川」など、熊野の海や山や川の織りなす豊かな大自然があり、文化面では、佐藤春夫や中上健次、東くめ、西村伊作などの多くの文化人を輩出し、また、秦の始皇帝の命を受け不老不死の霊薬を求めて熊野に渡来した徐福伝説による中国や台湾をはじめとした多種多様な異文化との交流なども活発に行われています。

新宮市では、一人ひとりの市民が協働の精神のもと、まちづくりの多くの場面で主役としての役割りを担い、行政、企業ともども濃厚なパートナーシップを築き上げながら皆の思いを実現していく「一人ひとりがまちづくりの担い手」を基本理念とし、清らかで尊い自然を背景にひとやまちが文化を磨き、まちのいたるところで熊野らしさがキラリと光る、「人輝き文化奏でる都市」をめざすべき都市像として、希望に満ちた輝かしい未来の創造に取り組んでいるところであります。

●管内の面積、人口及び世帯数

（令和５年４月１日現在）

	面　積	男	女	計	世帯数
新宮地区	255.23km^2	8,130 人	9,477 人	17,607 人	9,707 世帯
三輪崎地区		3,573 人	4,100 人	7,673 人	3,851 世帯
高田地区		105 人	140 人	245 人	168 世帯
熊野川地区		543 人	539 人	1,082 人	667 世帯
北山村地区（平成 28 年 4 月 1 日から消防事務受託開始）	48.20km^2	185 人	216 人	401 人	253 世帯
計	303.43km^2	12,536 人	14,472 人	27,008 人	14,646 世帯